

会費不足で
運転資金ショート



スクープ
公的資金注入も

建築 経営破たんか?

日刊
スポチク

3月吉日
130円

「10%の壁はエベレストより高かった」
森本会長、悔恨の記者会見

カネボウに続き
産業再生機構の管理下?

「ガリ版でも出し続ける」
広谷編集長決意を語る

えれば、1割の会員からの会費で会の運営がなされていたわけだ。この傾向は、ここ最近に始まったことではなく、実はかなり以前から深刻な事態に陥り、会の財政をじわじわと蝕んでいたという。

この事態を受け、昨晩、記者クラブで緊急記者会見を開いた森本仁会長は「卒業生は五千人以上いるのに、そのうち会費を納めているのは10%程度。この状態をなんとかしたいと努力してきたが、10%の壁は私にとっても、エベレストよりも高かった」と悔恨の表情で語った。

破たんか?

「2004年春号の会報誌では学科設立当初の年代から卒業間もない若手までの声をひろい、「現況報告2004」として紹介している。会報の今後についてインタビューを受けた広谷純編集長は「たとえ手弁当のガリ版刷りになろうと、会報を出し続けるつもりだ」と話すが、現実問題として、今後は会報を通じた情報交換も難しくなりそうだ。会報では、会として同僚の開催を支援するなど、会員のサービスを厚くする一方で、メンバーリストを設けて新規参加の意欲を高めるなどの再建策を検討しており、会員からのアイデアも募りたい意向。まずは5月22日(土)に開催する総会・懇親会で会員の知恵を結集し、危機脱出の糸口をつかみたい考えだ。

建築会が経営破たんの危機に瀕していることが、本紙の独自取材で明らかになった。昨年度までは、住所が判明している会員全員に年々同額から減らされた会費も、次号は会費納入者のみへの送付となる。先の旭首会議で極秘裏に決定がなされた模様だ。

経営を圧している最大因は会費納の低さ。追しの原入率本紙が入手した建築会の決算報告書によれば、会費を納入している会員は全体の約10%に過ぎない。言い換

平成 16 年 築理会
総会・懇親会のお知らせ

今年の築理会総会・懇親会を下記の予定で開催します。皆様お誘い合わせの上奮ってご参加下さい。

日時：5月22日(土)
総会 16:00~17:00 懇親会 17:00~20:00
場所：理窓会館3階会議室
会費：当日払い 4,000円
前払い(1ヶ月前迄築理会へ郵便振替)3,000円

今年は新たな企画として総会懇親会と同時に次の会も開催します。

関係の方は是非ご参加ください。
・終身会員の会
・同期会
卒後 5年(1999年卒業)10年(1994年卒業)
20年(1984年卒業)30年(1974年卒業)
・会費：当日払い 4,000円(終身会員 6,000円)
前払い 3,000円(終身会員 5,000円)

特集 SPECIAL FEATURE

「現況報告 2004」

今回は広く会員の方々の現在の声を集めてみました。名簿ではわからない現況報告の特集です。

ジェットコースター

佐藤 佳子(部37期)

住友林業 スミリンCADシステムズ出向中

現在、私はCADの構造担当で柱、梁、基礎等の構造図面を作成しています。いつか自分が設計をする時には、学生時代の自由な発想を持ち続け、住宅メーカーの細かいマニュアルの中でもおもしろい作品を設計していきたいと思います。ジェットコースター付きの家とか...。学生時代の課題にジェットコースター付きの作品がある。



街は巨大な生き物

横塚 安紀子(部36期)

森ビル 六本木ヒルズ運営本部管理運営室

昨年の4月、17年の歳月をかけて1つの街が生まれ変わった。入社してからほとんど六本木ヒルズの仕事しかしていない。線を引いて築きあげる仕事はしていないが、街のコミュニティ・運営を築きあげる仕事だ。街という巨大な生き物を運営していくので多くの人が関わり、四季折々、日々変化していく。住む人・働く人・訪れる人の生声を拾い運営していく。街は想像以上に扱い難いが、活きがよくて非常に楽しい。



忙しくても頑張れる！

鈴木 芳典(部35期)

金箱構造設計事務所

あっ！という間に2年が過ぎた。卒業式の次の日から物件を担当し、忙しい時には1人5、6物件は当たり前、延床100m²の小住宅から10万m²の超高層までスケール感がわからなくなるほど幅広く設計している。

これがアトリエ事務所の醍醐味なんだけど、毎日は苦難と葛藤の連続、ただ建物が完成したときの喜びはなにものにも換え難いもので、それだけがパワーの源！

現在はといえば、中国バブルの波に乗り、ご多分に漏れず上海・台湾のプロジェクトをいくつかおこなっている。上海に高層ビルの乱立による上海の地盤沈下のニュースを見るたびにマジで胃が痛くなる。そんな毎日です。



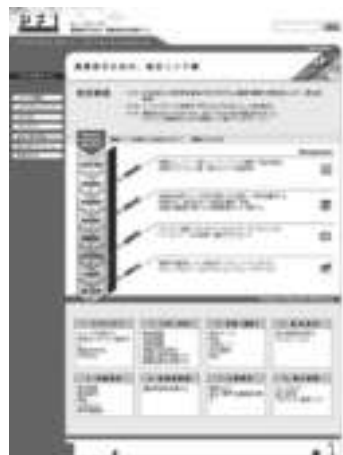
<http://pf1.jp/>

甲藤 正郎(部35期)

東京大学 坂本・松村研究室 博士課程

現在、大学の研究室にて建築生産における情報共有システムに関する研究を行っています。一方でこのアイデアはある企業の新規プロジェクトとして採用され、最近「PF1」というサイトの形で小さなスタートを切ることができました。理論的な側面と実務的な側面と

のバランスを取ることが難しく、不安定な毎日を送っていますが、なんとか社会的に高い価値を創出できればと考えています。ご関心のある方はぜひサイトにいらして下さい。



JAXAに勤めて

八木岡 民洋(部10期)

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 総合技術研究本部

私の勤め先は、昨年10月に宇宙関係3機関が統合し発足した独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)です。自身の業務は、競争的外部資金(研究費)の獲得とその執行管理です。独立行政法人は自ら積極的にお金を稼がなければ



なりません。従来の国立研究所と違い、経理も企業会計の処理が要求されますが、まだ理解不足のうえ、また会計システムへの不慣れもあり、悪戦苦闘している状況です。

JAXAは発足早々から、地球観測衛星「みどり2号」の運用断念、H2ロケット打ち上げ失敗、火星探査衛星「のぞみ」の火星周回軌道への投入断念など大きなトラブルが相次ぎ、JAXAのみならず日本の技術の信頼性に大きな波紋を投げかけることとなりました。この厳しい状況に対しては、職員一丸となって問題解決を図る必要がありますが、統合しても旧機関の壁は、まだ色濃く残っており、この壁を取り払うことも、これからの課題です。とは言え、航空宇宙に係る技術開発の複雑さ、難しさ、すそ野の広さ、未来への可能性を見ている者として、この問題解決に向けて改革に係わっていく所存です。

現在発展途上なり

齊藤 栄士(部8期)
墨田区拠点整備課

「愚者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ」という格言に刺激を得て、また、テレビもゆっくり見ることができない環境なので、最近では歴史ものの読書にはまっています。四十にもなって、まだまだ知らないことが多いことを実感しています。

建築も、大学ではきっかけ作りを学んだ程度で、古今東西を見渡せば奥の深い事を実感します。

と言うことで、最近では知識を増やすことの喜びを感じている今日このごろです。

「この不況、たーいへんですね」

佐藤 満帆(部7期)
サトミ建築企画設計

現在は、相模原市に住み、相模原市に設計事務所登録して、事業を営んでおります。所員は女性2名です。私は建築家志望ではないので、来るものは拒まず、で何でも仕事にしています。

今年で開業10周年なので、今までのやり方を切換え、事業方針を明確にして、「設計」の事業化を進めていきたいと思っています。そして、「建築士の役割」というものを世間一般に周知してもらうことを心掛け、これを事業化できればと思っています。



スチールハウスがメジャーに？

米長 信(部21期)
シーネット代表



皆さんはスチールハウスをご存知でしょうか？2×4の枠材を1～1.2mm厚の型鋼に置き換えた工法です。小生は客先の依頼を受けて、これらの図面の他、積算システム的设计・製作を請け負っています。

今回、納入したシステムは図面データから部材数量を読み取って、DBに保存する事を特徴とした画期的なものだったのですが、肝心の図面に間違いが多くて…。

ともあれ、システムも順調に稼働し、スチールハウスの棟数もかなりのペースで伸びているようです。メジャーになる日も近い？

浜松の太公望？より近況

中村 裕之(部20期)

須山建設株式会社 管理ブロック総務グループ人事チームリーダー

1985年卒業の中村 裕之です。卒業後、地元の建設会社である須山建設株式会社に入社し現場管理を2年、情報システム部門で13年、人事で3年仕事をしてきました。



社員数約220名の中堅建設会社なので、色々な仕事をしてます。数年前に船舶免許を取り、休日は浜名湖に出航しアサリをほったり釣り糸を垂れて楽しんでます。おかげで色黒。(昔からか...) いつまでも気を若く、仕事に遊びに励みたいと思います。

今年は4月から10月まで浜名湖花博が開催されます。よろしければ浜松にお寄りの際は、声をかけて下さい。

メールアドレス Nakamura_hiroyuki@yahoo.co.jp
会社HP <http://www.suyama-group.co.jp>

仕事の他にも楽しみが...

坂下 誠(部2期)

(株)インテグリティ スカラベ1級建築士事務所 代表取締役

設計事務所を設立して12年目を迎え、私を含めて4人と1匹(2歳のオス犬) 厳しいながらも楽しく仕事をしています。仕事以外では、子ども達への環境教育の大切さを感じ、数年前から地元台東区の小学生を対象にした、月1回の環境学習の講座にスタッフとし



当社の受付担当 ビー太君

て参加しています。また、趣味の音楽が高じ、ケーナという南米アンデスの縦笛に出会ってから6年。仲間達と週1回集まって練習し、区内のイベントや老人ホーム、病院などからの依頼で、年間20回以上ボランティアでfolklore演奏を楽しんでいます。

設計からFM部署に移動して

渡井 富喜男(部1期)

竹中工務店東京本店 FM部 課長代理

昨年春、設計部からFM部に移動しました。設計部では主に集合住宅の構造設計を担当し、免震住宅や超高層住宅などを手がけてきました。今は、その経験を活かして既存建物の耐震改修や補強を中心に、構造に関するコンサルタントや設計で忙しい毎日を送っています。FMは施設や設備の最大効果を発揮する経営活動であるため、その一助として建物所有者の意図を十分に理解し、構造の分かり易い説明を心掛けて取り組んでいます。



建物外部に耐震補強を行った事例

社会開発コンサルタント、世界をまわる

阪本 日出雄(部15期)

(株)パデコ シニアコンサルタント

今の仕事はODA関連の地域計画やまちづくり村おこしです。現在関わっているのはウルグアイ公共事業省のGIS調査、レバノン観光省の地方観光振興計画調査、ボスニア・ヘルツェゴビナ国のエコツーリズムと農業の持続可能な地域開発調査です。中東やバルカン半島の歴史、スペイン語、フランス語とこの歳になってから勉強しなければならないことが多くて退屈しません。海外出張が年



レバノンの遺跡で見かけた少女

8ヶ月と厳しい仕事でもありますが、帰国中には築理学会ランナーズの仲間と皇居の周回ランニングを楽しんでいます。

第3回目の住宅展

宇佐美 潔(部9期)

(有)宇佐美潔建築計画工房 代表

5年前から世田谷美術館の区民ギャラリーで私達が考えている住宅について知ってもらうため『楽しい家に住んでますか?』展を建築家仲間と開いています。昨年12月の第3回展には、地元の小学生が大勢で3日に渡って好奇心旺盛に見てくれました。毎回多くの方々に興味深く見てくれますが記帳された賛同や励ましの言葉からも関心の高さを感じます。

この展示会が良い住宅に住んでもらうきっかけになればと考えています。



引率の先生と地元の小学生

住宅に始まって住宅のまま...

新島 孝之(部8期)

計画工房 迎 主宰

独立して23年、建築と生活、理念と現実の狭間を辿っています。

97には鈴木教授に「雨の建築学 編纂のための学会WGに参加する機会を与えられましたが、あまりお役には立てなかったようです。今は福岡での仕事のおかげで、国内線をバスのように使えるのを楽しんでいる反面、10年来続けている太極拳が存続の危機にあります。



ヨットを楽しんでいます

大熊 清二(部7期)

(株)銭高組 本社総合支援本部マネジメントシステム推進部
銭高組に就職して32年が経ちます。入社後、建築
工事に23年間携わり、その間に15件の作業所長を
務めました。その後、「ISO9001」を導入・推進
する為に新設された現在の部署に配転され、「ISO
14001」の導入を経て現在に至っています。

学生時代はヨット部に在籍していましたが、卒業後
は遠のいていました。3年前から再び鎌倉の材木座に
ディンギーを置き、20才・30才の若者達やヨット
部の現役にまぎれて潮風を楽しんでいます。



今では医療福祉を

矢嶋 隆(部6期)

早稲田速記医療福祉専門学校

入江三宅設計に2年半在籍後、大和市の長谷川設計
で35才まで設計主任として公共建築や地元の名士の
邸宅など100件ほど設計。

以後20年、早稲田速記専門学校でパソコン教師を
やっている。最近では医療情報管理ソフトの開発にも手
を染めている。

想えば、父母の住宅を設計する
ことからスタートした前職、子供
ができれば、教育畑へ職を移し、
今や自らの高齢化とともに医療福
祉の領域に足を入れ...出来すぎた
人生だ。



老体にムチ打つ日々

岩城 知直(部5期)

デザインネットワークス代表



理科大には卒業以来大変ご無沙
汰しており、以前出張する時に、
東京駅に向かう中央線の車窓か
ら、我が母校理大の姿を、現実の
多忙と対比してちょっと恨めし気
に眺めていた事を思い出します。

私は、卒業後事務所経験を經
て、東急不動産設計監理部に入社
しました。設計監理部は東急設計
コンサルタントとして独立し、そこ
に27年間勤務し、集合住宅やホテ
ル等、海外の仕事も含め、色々な
仕事を担当する事が出来、幸運で
した。

現在は、4年前に友人と一緒に小
さな設計事務所を立ち上げ、主に
集合住宅の仕事をやっています。

組織事務所がない気楽さが救い
で、後は体力勝負です。

同窓生の応援で営業、開発に頑張る

岩倉 知行(部1期)

コーリョー開発株式会社

卒業後3年ほど二見・平野研の助
手を勤めさせて頂いた後、約30
年間東急建設の研究開発部門に
在籍致しました。現在は、卒業後
三つ目の勤め先、コーリョー開
発(株)という主力製品にRCの開
孔補強金物のダイヤレンを製作
している中小企業で、同窓生を
はじめこれまでに付き合い頂いた
方々に応援を頂き、営業、開発
に頑張っております。築理会が、
世の中のお役に立とうというスタ
ンスで、発展されることを祈り
ます。例えば、ホームページを立
ち上げ、事務所経営されている方
がスタッフとして、建築関連のア
ドバイスをされれば、仕事にもつ
ながるのではないかと思います。
ご検討期待します。

建築士“名門校”日建学院

V28達成! 学科・設計製図 試験ともに 全国No.1

おかげさまで建築士(平成15年度を含む過去累計実績)

230,000人を輩出!

建築と同様他の講座も抜群の合格実績を誇っています。
本試験に向け日建学院が誇る、
業界トップの伝統と実績で合格へ導きます。
※講座によっては既に締切らせて頂いている講座もあり
ますので予めご承知おき下さい。

教育訓練給付金制度対象講座多数あり、お問い合わせは下記フリーダイヤルまで。

WS開講

1級建築士学科長期対策ウェブ&スクール学習(セット)開講!
ハードルが高い程、「絶対に一回で取るう!」と燃えている貴方に、日建学院は最先端のビジュアル講義を中心と
した、画期的なシステム(Web在宅学習とスクーリング)を提供致します。

建築資料研究社の主な出版物

建築設計資料/基本建築基準関係法令集(建築士試験場持込み可)ほか多数

1級建築士

2級建築士

宅建

FファイナンスPプランナー

マンション管理士

管理業務主任者

1・2級 建築・土木 施工管理技士
管・造園給水装置工事
主任技術者ニッケン コンピュータースクール開講 受講生
TEL.03-3980-8007 受付中!
予定の期間内
に卒業まで http://www.ksknet.co.jp/system/school/

全国135校・660常備教室建築関連資格教育のパイオニア

日建学院 株式会社 建築資料研究社

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-50-1
日建ワールドハウジングセンター
日建学院コールセンター
0120-243-229(東京)

URL: http://www.ksknet.co.jp/nikken/

築理会サークル活動報告（事業委員会）
築理会ランナーズ活動状況

1. 定期練習会
月に1度皇居の周回コースで実施
2. 市民大会参加
2003西東京駅伝大会(平成15年10月4日)他
3. ボランティア活動
築理会ランナーズ(東京理科大学工学部建築学科OB会の中のサークル)として登録し、各地のランニング大会の運営スタッフ一員としてボランティア参加



左から佐野・山下・江口・入野

2003西東京駅伝大会

記録：1時間45分28秒

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1区(佐野) | 10.4km | 46分16秒 |
| 2区(山下) | 5.2km | 24分04秒 |
| 3区(江口) | 3.0km | 12分35秒 |
| 4区(入野) | 5.2km | 22分33秒 |

多数の築理会会員の皆様のご参加をお待ちしております。

<築理会ゴルフコンペ>

平成15年12月20日(土曜日)ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場において、初の築理会終身会員によるゴルフコンペを開催いたしました。当日は、晴れの天候ではありませんでしたが、スタートして間もなく非常に強い季節風が吹き始めるという悪条件の中、参加者は苦労しながら全員が無事にプレーを終わることが出来ました。プレー内容は、上級者は強風への対応も抜かり無くスコアをまとめておりましたが、アベレージクラス以下の者はやっとの思いで最終ホールにたどり着いた状況でありました。



競技はダブルペリアー方式で行われ、優勝は田中弘道氏でありました。上位者のスコアは次の通りであります。また、参加者9名全員の平均スコアは、強風という悪条件のためか103でありました。

順位	氏名	グロス	HC	ネット
優勝	田中弘道	101	26.4	74.6
準優勝	川崎正博	91	15.6	75.4
3位	森本 仁	90	13.2	76.8

今回のゴルフコンペは、築理会として初めて計画したもので、当初どの程度の参加者があるか不安を持っておりましたが、無事に終了致しました。

今後の事に付いては、当日の参加者の総意でこれからも続けていく事となりました。その概要は、会長は1期の森本仁さんをお願いし、幹事は6期の片淵利幸さんに引き受けてもらい、開催は年2回、4月と12月の第1週の土曜日を目途として日程を決める事にしました。会の名称は当面「ちくご会」と致しました。良い名前があればご提案をお願いいたします。

尚、次回ゴルフコンペは4月3日頃に計画したいと考えておりますので皆様の参加を期待しております。

(5期 (株)ピーエス三菱 佐治浩一)



20th
 新たなるチャレンジへ

人がつくる、人の場所。

そこには落ち着ける空間があります。そこには快適な環境があります。
 そして、そこには豊かな時間が流れています。
 大切なのは人の息吹が感じられる場所であること。
 私たちはこれからも想いを込めてつくり続けます。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設
<http://www.shimz.co.jp/>

連載 研究室紹介(第9回)

研究室紹介、第9回目です。日常大学から疎遠になりがちなOBの方々に理科大の今を知ってもらうため、現在どんな研究をしているのか等、研究室内から記事を寄せて頂くコーナーです。

今回は篠崎研です。どうぞお楽しみ下さい。

篠崎研究室紹介

はじめに

9号館10階にある篠崎研究室は第三部門に属し、地震工学および建築振動学を専門に扱っています。京都大学から篠崎祐三教授が着任した1999年10月に振動工学を扱う本学科初めての研究室として、森脇研究室を引き継ぐ形で開設されました。卒研生の在籍数が今年度までの累積でようやく35名に達した、比較的若い研究室です。

篠崎教授は本学赴任以前から、不整形地盤域 地形・地層構成の空間的変化が著しい地域のことで、震害が集中する での波動伝播や構造物の振動特性の解析を長年にわたって研究してこられ、この分野での業績に対して1994年には日本建築学会から学会賞(論文)を授与されています。本研究室では現在に至るまで、このテーマを研究の大きな柱の一つとしてきています。

地震工学という分野の特徴の一つとして、伝統的な区分でいう「建築学」「土木工学」および「地球物理学」の3専攻にまたがる学際性を挙げることができます。これを象徴するかのように、本研究室の初代助手を務めた長 郁夫(2000-02)2代目・現助手の多田 卓(2002-)はいずれも理学系大学院の地球物理学専攻を卒業しています。

過去15名の卒業生の就職先職種のうちで最も多いのは、建設会社の施工管理および官公庁勤務の各4名となっています。

現在の体制

研究室には現在、修士課程の大学院生5名と第一部卒研13名が在籍しています。頭を悩ませているのが限られたスペースの問題で、大学院生は2人で1台の机を共有しているほか、卒研生の人数に対してもパソコンの設置可能台数が不足気味で、また共通作業スペースが手狭なために卒研生ゼミは数限られたゼミ室で開くことが多くなっています。

大学院生全員を対象にしたゼミを毎週1回開催し、各人の研究進捗状況報告の場としているほか、教科書を用いたテーマ学習も行っています。第一部卒研生を対象にしたゼミは、前期には基礎的学習を目的としたものを週に3回行い、後期には研究進捗状況報告の場としての全体ゼミを週1回開くほか、対象者がある程度絞ったテーマ学習ゼミを随時開

催しています。なお今年度は初めての試みとして、卒論執筆を控えた卒研生全員を対象に、毎週1回の課題出題による作文の練習を前期に行いました。

研究テーマ

当研究室の研究テーマのうち主要なものをいくつか以下に挙げます。
常時微動のアレイ観測による地下構造探査:年に数回、研究室総出で実施しています。綿密な事前計画を立てた上で重い機材を車に積み込み、校外へ出かけて行う本調査は当研究室の最重要行事の一つとなっており、これまでに本学野田キャンパス、都立木場公園、埼玉県春日部市、光が丘団地周辺などで実施、思い出深いイベントとして構成員たちの記憶に残っています。

不整形地盤における波動伝播のシミュレーション:有限要素法による波動伝播解析ソフトを導入した結果、上記の常時微動アレイ観測の解析結果に見られた諸特徴を数値計算によっても再現することに成功するなど、予期以上の成果を挙げつつあります。

本学神楽坂1号館の振動特性の解析:2002年4月から神楽坂1号館の地下1,5,10階、屋上に1台ずつ設置され稼働している強震計の管理を、当研究室において行っています。このほか、屋上に複数台の地震計を一時的に設置して微動や風による振動を計測する実験も随時行っています。記録の解析により各種固有振動モードが検出されましたが、今年度からは振動解析にも着手し、これらの振動モードを構造計算や振動シミュレーションにより非常に高い精度で再現することに成功しつつあります。

亀裂力学の半解析的数値シミュレーション:断層上の地震発生のメカニズムについて知るための基礎研究として地震学分野で行われているのが数値実験による亀裂力学解析です。建築学という枠をやや超えるテーマになりますが、当研究室ではこの分野に関連した基礎研究も手がけています。

その他

篠崎教授が担当している数多くの講義科目のうち、第一部と第二部の3年生を対象に行っている振動実験は研究室全体にとっても最も重要な年中行事の一つとなっています。この実験に参加して初めて篠崎教授や研究室の助手・院生に身近に接したという学生も多いことと思います。実験に使用するヒノキ材および鉄板製の一層・二層骨組模型は、毎年出番が回ってくる以外の11か月間、当研究室内の安全な場所に大切に保管されています。なお卒研が本格化する直前の毎年9月に親睦のためのゼミ旅行を企画し、なるべく多くの構成員が参加するようにしています。

篠崎研究室のホームページは <http://www.rs.kagu.tus.ac.jp/sinoken/HOME.htm> です。構成員多忙のため更新が滞って多少見苦しい点がございますが、ご覧の上忌憚なきご意見をお聞かせください。

(2004.2.19)



人がいきいきとする環境を創造する

大成建設株式会社

<http://www.taisei.co.jp/>

「モノづくりの楽しさの扉」

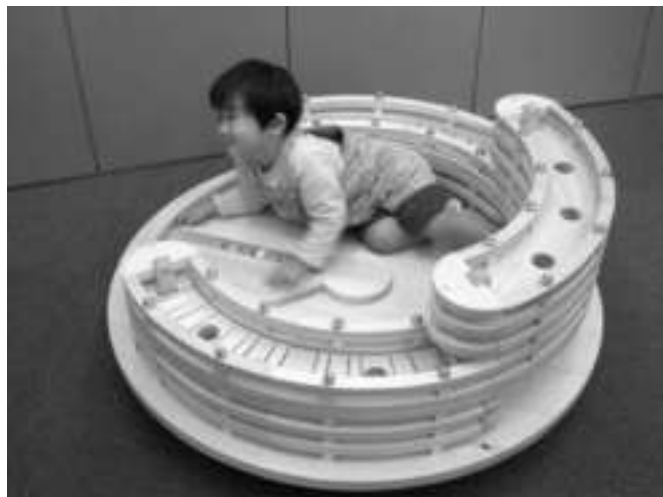
石井 亮 (部38期)
鈴木研究室修士課程

昨秋、紅葉深まる中、富山県大山町で木工家具コンペが行われた。東京からデザインを学ぶ学生と富山の職藝学院から木工を学ぶ学生が集められ、5組のペアが半年の製作期間を与えられ、各々の作品を競った。テーマは『ちっちゃな子供のための木の道具』。私はとにかく、子供達に楽しんでもらえるモノをと思い、「子楽木(こがっき)」という作品をデザインした。子供が体を動かすと台が揺れ、写真のように子供を囲う部分の上を玉が転がり、穴から落ち、カタカタと木の音を奏でる。そこに数種の刺激だけを用意した。このワークショップでは、まずパートナーの作り手が納得し、やる気になってくれるモノを考えるというコラボレーションならではのデザインの難しさとプレッシャーも味わった。

コンペがせまり富山入りした私は工房に行き、初めて作品を目の当たりにし、職藝学院の学生の腕前に驚き、同時に自分のデザインしたモノが出来上がるということに快感に近いものを覚え、モノづくりの楽しさの扉を開けてしまったことを実感していた。

展示会場は大山町のコミュニティーセンターで、小泉誠氏のデザインした段ボールの空間を自分達で設営した。お披露目の時を迎え、不安の入交する中、子供達が続々と姿を表した。期待通りだった。子供達は自分なりの楽しさを見つけ、目を輝かして夢中になって遊んでくれた。また、使い手の反応を知れたことも新鮮だった。続いてコンペの審査があり、残念ながら選ばれなかった。

後日うれしいメールが届いた。私達の作品が子供達の人気投票で一番となり、特別賞を頂いたのだ。それは何にも勝る勲章になった。「経験」から得た「自信」は次の一步を踏み出す為の「勇気」となる。それは与えられたものではなく掴み取ったものこそ本当に自分への投資となる。今はそれを可能にしてくれる全てに感謝し、将来、社会に対し恩返しできるように努力したいと思う。



平成16年会費納入のお願い

現在、平成16年度の会費の納入をお願いしております。同封の振込用紙にて、お振り込み下さい。

今後のさらなる築理会発展のため、多くの方のご協力をお願いします。

年会費 3,500円

加入者名 築理会

口座番号 郵便局 00110-5-171952

インフォメーション

平成15年決算報告・平成16年予算案

昨年度の決算および今年度の予算案につきまして、下記のように立案いたしました。来る総会にて会員皆様のご承認を頂きたく、お知らせいたします。ぜひ総会にご出席頂きますようお願いいたします。築理会費が総収入の90%を占めています。活動の趣旨をご理解の上、会費納入をよろしくお願いいたします。

平成15年築理会決算報告

収 入		支 出	
平成14年度繰越金	729,653	会報(2回)	767,696
築理会会費	1,519,000	名簿	91,140
広告収入	255,675	事業支出	0
総会より	3,910	HP維持費	48,200
その他	20,536	事務費	305,319
		運営費	144,833
		通信費	21,900
		来年度繰越金	1,149,686
合 計	2,528,774	合 計	2,528,774

平成16年築理会予算案

収 入		支 出	
平成15年度繰越金	1,149,686	会報(2回)	850,000
築理会会費	1,775,000	名簿	800,000
広告	500,000	事業支出	100,000
		HP維持費	245,000
		事務費・運営費	300,000
		通信費	60,000
		予備費	100,000
		繰越金	969,686
合 計	3,424,686	合 計	3,424,686

「編集後記」

今回は編集の切り口を変え、会員の方々に委ねた近況報告特集となりました。広く原稿を集める苦労はあったものの、同窓会誌としては原点に戻った感じがします。それにしても不況は築理会に在りという感じの巻頭ページ、皆様のご協力を深くお願いします。

(広谷 純弘hiro@archivision.co.jp)

築理会報2004春号

2004年3月発行 Vol.34

発行所 : 東京都新宿区神楽坂1-3

東京理科大学工学部 ・ 部建築学科

築理会事務局 03-3260-4271(内3293)

03-3235-6897(FAX)

編集長 : 広谷 純弘

編集委員 : 石神一郎、森清、伊藤学、伊谷峰、安達功、千田猛、

諸岡伸幸、中川信浩、平賀一浩、大野紋子、東有紀

印刷発送 : グローバルシステム株式会社